

ご夫妻の人柄に魅了された三時間半

青年部部长

早川友久はやかわともひさ



許世楷代表と千恵夫人

五百人を超える関係者が出席

李登輝前総統の来日実現をはじめ、日台関係の改善に尽力して来られた羅福全駐日代表に替わり、元台湾独立建国聯盟主席で津田塾大学名誉教授の許世楷せいか氏が去る七月五日、駐日代表に就任された。羅前代表は亜東関係協会会長に栄転され、外交部長の陳唐山氏とあわせ、対日外交に深く関わるポストが全て台湾独立運動を牽引してきた人物で占められたことから、「ゴールデン・トライアングルの強力な布陣」と大きく期待されている。

そこで七月十八日、新高輪プリンスホテルの国際館パミール「北辰」において、許代表の就任を祝う歓迎会が開

催され、当会は実行委員会の事務局を担当した。

当日は酷暑の中、五百人を超える日本人、在日台湾人が出席し、スタッフには三十名以上の留学生が加わるなど、文字通り許代表に対する日台の期待の大きさが窺える盛会となった。

開会に際し、発起人を代表して本会の小田村四郎会長が「中国の脅威が増大する中で、日台の連携はますます重要になってきている。この時期に、国際関係論の草分け的存在である許世楷代表の駐日代表就任は心強い」と歓迎の挨拶。続いて、西村眞悟衆議院議員が「いつの日か、奥の細道を李登輝という日本の真の友人が訪れる。その実現こそ、日本が精神的に自立する国直

しの道である」と、日台間に横たわる「いびつな関係」の改善を訴えた。

引き続き、熊坂隆光・日本工業新聞社長、そして「台湾独立がまだ夢物語だった頃」から許代表ご夫妻と共に活動してきた郭孫雪娥かくそなせつが・在日台湾婦女会会長、周英明・東京理科大学教授がそれぞれ祝辞を述べた。郭会長は「国造りに立ち会えることほど幸せなことはない。今こそ人心を一つにして建国に尽くして欲しい」と積年の想いを吐露するかのように切々と訴え、周教授は「家康の慎重さ、信長の決断力、秀吉の智慧を併せ持った人物」と許代表を評し、言論の自由を護るために焼身自殺を遂げた鄭南榕ていなんじゆう氏とともに台湾独立運動の主人公の一人と紹介した。また、千恵夫人の人柄にも触れ、台湾に不可欠の人を陰に陽に支える良妻賢母の日本の人と、長年の内助の功を労った。在日三十数年もの間、いかに許夫妻が仲間から慕われ、敬愛を受けてきたかを垣間見た思いである。



各テーブルを回って杯を上げる許代表ご夫妻

続いて、石原慎太郎・東京都知事、安倍晋三・自民党幹事長からの祝電が披露された。安倍幹事長は「知日家である許代表と、様々な課題について共に歩んでいけるのではないかと期待しています」と大きな期待を込めたメッセージを寄せている。

為すべきこと二つを追加表明

いよいよ許代表が挨拶に立ち、着任の記者会見で述べた「三つの為すべきこと」(①台湾新憲法制定に日本の理解

を求める、②台湾の安全保障の確立、③文化学術交流の更なる活性化)にさらに二つ追加すると表明した。現行の「台北駐日経済文化代表処」の名

称を、「台湾駐日経済文化代表処」に改めること。来年十月に開通する台湾新幹線は日台友好の結晶であり、これにいかに関係の発展に利用するかということ。これらの実現のために在日台湾人および日本の方々のご協力をお願いしたいと語り、大きな賛同の拍手を浴びた。

乾杯後、一時間半の祝宴の中で許代表ご夫妻は各テーブルをまわり、記念撮影にも応じるなど和やかな光景があちこちで見られた。その後、許代表の生い立ちから千恵夫人とのロマンス、三十数年にわたる日本での生活、時には命の危険さえ覚悟したエピソードなど、ご夫妻の軌跡を紹介する感動的なビデオが上映されると、暗い場内には目頭を拭うハンカチの花が咲いた。上映後には千恵夫人が挨拶に登壇した。「そろそろ人生の整理を始めようと相談していた矢先、主人は何の相談もなく駐日代表の職を引き受けてきてしまいました。しかし、国家が彼を必

要としていることに身が引き締まる思いがします。赴任に際し、息子からは誠実・尊厳・知性を持って仕事に励んで欲しいというメールが届きました。会場にいる台湾人の皆さんも、常にご三つを持って台湾を語り、日本の友人たちがこれからも台湾を支えて下さるように力を尽くして下さい」。言葉の一つ一つに知性と温かさを感じさせる訴えに万雷の拍手が贈られた。

その後、歓迎会を共催した各団体の代表が挨拶。続いて、袖原正敬・本会事務局長が閉会の挨拶の中で「日本人にもっと台湾を知らしめるため、許代表を全国にお招きして講演会を開催していただきたい」と提案。会場からの大きな拍手に、許代表も立ち上がり、手を高々と挙げて応諾すると、会場はさらに湧き上がった。

最後に全員で「ふるさと」「勇敢な台湾人」を合唱。万歳三唱により、三時間半の長きにわたって開催された歓迎会は大盛況のうちに幕を閉じた。